

報道各社の皆さまへ

6月3日アクション 福島の子どもたちを守ろう、全国のお母さん立ち上がる！ 私たちは20mSv／年の即時撤回を求めます 高木義明文部科学大臣、福島のお母さん、父さんに会って下さい

以下の内容で記者会見を行います。

福島そして全国のお母さんたちの子どもを想う気持ちを、より多くの人たちにお伝え下さるようお願いいたします。

地震、津波、福島第一原発事故が起きて以来、全国のお母さんたちは福島の人たちのことをとても心配し、胸を痛めています。特に子どもたちのことが心配です。

原子力災害対策本部は、2011年4月19日付け「福島県内の学校等の校舎、校庭等の利用判断における暫定的考え方」についてという文部科学省と厚生労働省宛の文書の中で、福島の子どもたちの学校等の校舎・校庭等の利用判断における暫定的な放射線量の目安とし、1～20mSv／年としています。文部科学省はこの数値をもとに福島県内の教育現場と保護者に対して放射線量の基準を定めていると思われます。¹ 国際放射線防護委員会(ICRP)は、「非常事態が収束した後の一般公衆における参考レベルとして1～20mSv／年の範囲で考えることも可能」²としていますが、東京電力や中部電力が会員となっているWorld Nuclear Associationでは20mSv／年は原発で働く成人の年間の被ばく限度です。³ 成長期の細胞分裂が活発な子どもには明らかに高すぎる数値です。福島のお母さんだけでなく、全国のお母さんたちが福島の子どもたちのことを心配しています。

私たちは文科省に対し20mSv／年の即時撤回を求めます。

日本には54基の原発があり、地震が起きれば、福島第一原発事故は全国どこでも起こりうることなのです。福島第一原発事故以降、全国で、反・脱原発のパレードやイベントが実施されています。そこで同じ想いをするお母さんたちが知り合い、「福島そして日本全国の子どもたちを放射性物質から守ろう」というネットワークが自然に生まれました。代表者はまだ決まっておらず組織的にも不備な点が多く、専門知識もありません。しかし、いてもたってもいられず、福島の子どもたちのために立ち上がることにしたいのです。

アクション内容とメンバー

2011年6月3日(金)に全国からかけつけたお母さんたちが、文部科学省、経済産業省原子力安全・保安院、厚生労働省に要望書を届けます。参加者はエプロンを着用しお母さんであることをアピールし、放射性物質を吸収すると言われる菜の花とひまわりの花を持ちます。

「いのちを守るお母さん全国ネットワーク」のメンバーは専業主婦、画家、ピアニストとさまざまです。画家で二児の母、増山麗奈(34)はアートで平和と原発のない社会を訴えて来ました。福島第一原発事故をきっかけに原発について考えるようになったメンバーがほとんどです。6月3日のアクションには参加できないけれど、新潟と名古屋のお母

¹ 文部科学省 福島県内の学校等の校舎・校庭等の利用判断における暫定的考え方について 平成23年4月19日
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/23/04/1305174.htm

² 文部科学省 保護者の皆様へ

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/other/detail/_icsFiles/afieldfile/2011/05/11/1305089_1.pdf

³ Effects of radiation, Some comparative radiation doses and their effects, Nuclear Radiation and Health Effects, World Nuclear Association
<http://www.world-nuclear.org/info/inf05.html>

さんたちが、『子どもたちが放射性物質に怯えることなく安心して暮らせるように』と想いを込めて作ったキルトを持って要望書を届けます。

お母さんだけでなく、おばあちゃん、おばさん、女子大生の関口詩織(18)さんもかけつけてくれます。関口さんは、3月26日に「脱原発を歩こう～STOP 浜岡ぱれード～」、5月8日「卒げんぱつ感謝祭」を名古屋のお母さんたちとともに主催しました。「脱原発を歩こう～STOP 浜岡ぱれード～」は「菜の花革命」と紹介されました。

主婦、戸倉由紀枝(44)が運営するホームページ STOP！浜岡原発で集めた「安全で安心な代替エネルギーの開発・推進、浜岡原発の廃炉、日本国内全ての原発運転停止」を求めたメッセージ付き電子署名(52ヶ国1地域6978人、2011年5月26日現在)も要望書とともに届けます。

福島のお母さんたちは6月3日のアクション参加については現在調整中です。子ども、家庭のことなど東京でのアクションに参加するのは簡単ではありません。当日参加できない場合は、福島のお母さんたちは手紙を書いてくれます。その手紙を「いのちを守るお母さん全国ネットワーク」のメンバーが、要望書を渡す時と記者会見時に読みます。

要望内容

文部科学省:

- ・20mSv／年の即時撤回
- ・必要に応じ国と電力会社の費用負担での集団学童疎開・避難の実施、自主的に避難と疎開を行場合は、国と電力会社による経済支援の実施
- ・放射線物質を除去する特別仕様のフィルター付きのエアコンの校舎への設置
- ・高木義明文部科学大臣と福島のお母さん、お父さんとの面談の実施(5月23日に福島のお母さん、お父さん、全国からの支援者が文部科学省に行きましたが、高木義明文部科学大臣は会って下さいませんでした)。
- ・全国の学校での放射線量のモニタリングの実施と公開

経済産業省原子力安全・保安院: 安全で安心な代替エネルギーの開発推進と「原発に頼らない子どもたちが安心できる社会」を目指すこと

厚生労働省: コーデックス委員会など国際機関の飲食物摂取制限に関する指標に照らし合わせた飲料水、食品の放射線量の指標値の再検討

6月3日アクションスケジュール

14:00-14:15 経済産業省(別館)入り口にて、原子力安全・保安院職員に要望書と署名をお渡し、お母さんたちの想いを伝えます。

14:15-14:25 経済産業省(別館)から厚生労働省に移動

14:25-14:40 厚生労働省入り口にて、厚生労働省職員に要望書をお渡しし、お母さんたちの想いを伝えます。

14:40-14:50 厚生労働省から文部科学省に移動

15:00-15:30 文部科学省内にて、文部科学省職員に要望書と署名をお渡しし、お母さんたちの想いを伝えます。

15:30-16:00 文部科学省内記者クラブにて記者会見

16:30-18:00 参議院議員会館 B104 にて福島のお母さんの話を聞く会(福島のお母さんたちが来られない場合は、福島のお母さんたちが想いを語った映像を見ながら、福島の子どもたちに何ができるか話し合いをします)。*この会はどなたでも参加できます。

*移動時間によりスケジュールは若干変更する可能性があります。

6月3日の記者会見での配布資料:

1. 文部科学省、経済産業省原子力安全・保安院、厚生労働省への要望書コピー
2. 福島のお母さんたちが想いを綴った手紙とメッセージ
3. 福島県郡山市、いわき市、会津若松・小野町などに住むお母さんたちのメッセージ(DVD)(予定)

撮影・監督／森愛和尚、エグゼクティブクリエイティブクリエイター／横須賀祐治、企画・監修／増山麗奈(いのちを守るお母さん全国ネットワーク)

*3のDVDは、希望者の方への有料配布(千円程度)とさせていただきます。撮影・監督の森愛和尚は福島在住者。

「いのちを守るお母さん全国ネットワーク」について

福島第一原発事故以降の反・脱原発のパレードやイベントで知り合ったお母さんたちを中心とする人たちのゆるやかなネットワークです。年齢、職業はさまざまですが、福島の子どもたち、日本全国の子どもたちが安心して暮らせる社会を作りたいという想いで繋がっています。東京、関西・・・、ネットワークは広がっています。今後は、福島のお母さんたちの意見を聞きながら、メンバーで何が出来るかを考えていきたいと想っています。まずは、福島のお母さんと子どもたちが経済的な負担なく避難できる場所・受け入れ機関などの情報提供をすることを考えています。

前向きな批判、そして智恵を出し合います！節電だってします！

全国のお母さんたちの大きな愛で福島の子どもたちを守り、この危機的状況を乗り越えたいと想います。

注意事項

1. 文部科学省記者クラブの会員ではない報道機関の方で、記者会見にお越しになられたい方は、前日(6月2日)までに文部科学省記者クラブ幹事までご連絡下さるようお願いいたします。文部科学省(代表番 03-5253-4111)にお電話をかけ記者クラブ幹事に繋いでもらって下さい。
2. 記者会見で、取材して下さいな方は多い場合は、スペースの関係上、記者クラブの会員報道機関の方が優先となることをご了承下さるようお願いいたします。
3. 記者会見後、16:30からの参議院会館B104で行う報告会で取材を受けることも可能です。
4. 15:00からの文部科学省職員との面談に取材をしていただくことも可能です。スペースの関係上人数制限がありますので、取材をご希望の方は事前に戸倉までご連絡下さるようお願いいたします。この取材は写真撮影のみの可能性が高いことをご承くださるようお願いいたします。
5. 福島のお母さんたちが記者会見に参加できる場合、家庭の事情のため、写真・動画撮影なしで匿名での取材となる可能性があることを予めご了承下さるようお願いいたします。こうした事情の背景もご理解くださるようお願いいたします。

連絡先:

「いのちを守るお母さん全国ネットワーク」

6月3日のアクション事務局&取材受付担当: STOP! 浜岡原発、戸倉由紀枝

Tel: 090-4401-8774、E-mail: stophamaokanuclearpp@gmail.com

<http://stophamaokanuclearpp.com/>

詳細: <http://stophamaokanuclearpp.com/?p=309>